

猪名川自然環境委員会の経緯等

<目次>

1. 猪名川自然環境委員会及び構造検討部会の経緯	1
2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷	2
3. 議事要旨集	7
(1) 第33回猪名川自然環境委員会(令和6年1月18日)	7
(2) 第27回猪名川自然環境委員会 構造検討部会(令和6年11月5日)	9

1. 猪名川自然環境委員会及び構造検討部会の経緯

「猪名川自然環境委員会」(H16.1～)

- 委員会は、猪名川流域における自然環境の整備と保全について、河川管理者に対して、必要な指導・助言を行うことを目的とする。(委員会規約第2条)
(五十音順、敬称略)

猪名川自然環境委員会 委員(第34回予定)・構造検討部会 委員(第27回)

氏名	所属等	対象分野	委員会	部会
川崎 雅史	京都大学大学院 地球環境学堂 都市基盤デザイン論 教授	景観デザイン	○	
竹門 康弘	大阪公立大学 国際基幹教育機構 客員研究員	応用生態工学	○	○
田中 哲夫	元兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授	魚類生態学	○	○
服部 保	兵庫県立大学 名誉教授	植物生態学	○	○
平井 規央	大阪公立大学大学院 農学研究科 緑地環境科学専攻 教授	昆虫生理・生態学	○	
松井 正文	京都大学 名誉教授	動物系統分類学	○	
村上 興正	元京都大学大学院 理学研究科 講師	動物生態学	○	○※部会長
森下 郁子	一般社団法人淡水生物研究所 所長	比較河川学	○※委員長	

構造検討部会

開催日	構造検討部会
H17. 5. 26	第1回部会
H17. 8. 10	第2回部会
H17. 12. 3	第3回部会
H18. 12. 5	第4回部会
H21. 3. 12	第5回部会
H21. 12. 4	第6回部会
H22. 3. 11	第7回部会
H22. 10. 22	第8回部会
H23. 2. 25	第9回部会
H23. 8. 11	第10回部会
H24. 2. 2	第11回部会
H24. 8. 14	第12回部会
H25. 1. 31	第13回部会
H25. 3. 9	第14回部会
H25. 8. 13	第15回部会
H27. 3. 11	第16回部会
H27. 10. 5	第17回部会
H28. 10. 26	第18回部会
H29. 9. 19	第19回部会
H30. 1. 18	第20回部会
H31. 10. 17	第21回部会
R 1. 10. 9	第22回部会
R 2. 12. 9	第23回部会
R 3. 12. 9	第24回部会
R 4. 10. 28	第25回部会
R 5. 10. 23	第26回部会
R 6. 11. 5	第27回部会

猪名川自然環境委員会

開催日	検討会
H16. 1. 15	第1回委員会
H16. 3. 9	第2回委員会
H16. 10. 19	第3回委員会
H17. 3. 22	第4回委員会
H17. 9. 7	第5回委員会
H17. 12. 14	第6回委員会
H18. 3. 29	第7回委員会
H18. 3. 8	第8回委員会
H19. 9. 12	第9回委員会
H19. 9. 12	第10回委員会
H20. 2. 26	第11回委員会
H20. 3. 28	第12回委員会
H20. 10. 16	第13回委員会
H21. 3. 22	第14回委員会
H21. 12. 11	第15回委員会
H22. 3. 18	第16回委員会
H22. 12. 8	第17回委員会
H23. 3. 11	第18回委員会
H23. 10. 21	第19回委員会
H24. 2. 23	第20回委員会
H24. 10. 31	第21回委員会
H25. 3. 26	第22回委員会
H25. 10. 9	第23回委員会
H26. 11. 6	第24回委員会
H28. 2. 8	第25回委員会
H29. 2. 10	第26回委員会
H30. 2. 9	第27回委員会
H31. 2. 13	第28回委員会
R 2. 2. 6	第29回委員会
R 3. 1. 25	第30回委員会
R 4. 1. 27	第31回委員会
R 5. 1. 27	第32回委員会
R 6. 1. 18	第33回委員会
R 7. 1. 22	第34回委員会

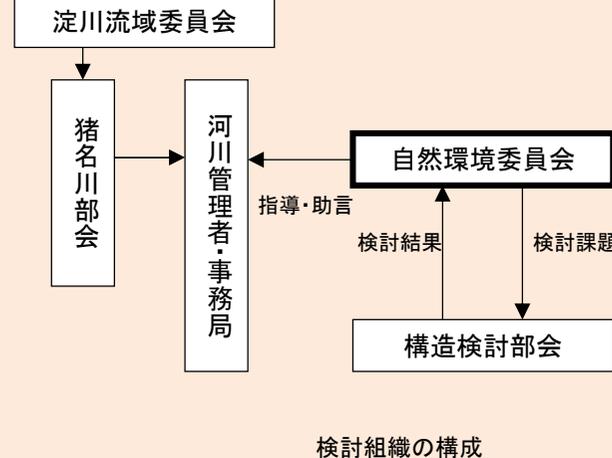
「猪名川自然環境委員会 構造検討部会」(H17.5～)

- 猪名川で実施される個別の事業において求められる環境面での配慮事項、河川環境に関わる縦断形や横断形等河川構造に関する事項、あるいは猪名川で自然再生を行うために実施すべき事業の内容等について審議するために、猪名川自然環境委員会の内部組織として構造検討部会を設置する。

【構造検討部会での検討項目】

構造検討部会では、猪名川自然環境委員会での審議内容を受け、次のような事項について検討する。

- ① 河川環境にかかわる縦断形や横断形等河川構造に関する事項
- ② 河道整備に関わる自然環境に関する事項
- ③ 工事実施に関わる自然環境に関する事項
- ④ 猪名川直轄区間占用申請物件の設置・改築等の自然環境に関する事項
- ⑤ その他猪名川自然環境委員会で委員長が指定した事項



環境に関する検討課題・検討方針を審議すると共に、検討結果を統括し河川管理者に指導・助言を行う。

実施事業固有の課題等について対策を検討する。

検討組織の構成

(出典：猪名川自然環境委員会 第1回構造検討部会 議事概要)

工事予定箇所の現地確認

開催日	現地確認
H22. 1. 26	平成21年度(1)
H22. 2. 8	平成21年度(2)
H22. 3. 4	平成21年度(3)
H24. 8. 14	平成24年度(1)
H25. 3. 9	平成24年度(2)
H25. 10. 8	平成25年度(1)
H25. 12. 18	平成25年度(2)
H27. 10. 21	平成27年度
H28. 9. 30	平成28年度
H29. 7. 3	平成29年度
H30. 8. 27	平成30年度
R 1. 7. 10	令和元年度
R 2. 12. 9	令和2年度
R 3. 12. 9	令和3年度
R 4. 10. 24	令和4年度
R 5. 10. 23	令和5年度
R 6. 11. 5	令和6年度

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(1/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H15	第1回 (H16.1.15)	・猪名川自然環境委員会の設立趣旨について ・猪名川自然環境委員会規約(案)について ・委員長選出	-	-	-	-
	第2回 (H16.3.9)	・最近の取り組みについて(外来種対策としてのアレチウリの刈り取りとその後の追跡調査状況、一庫ダム下流河川環境復元へ向けての対策、河道内樹木調査結果について(猪名川・藻川分派点付近の状況)) ・当面の調査検討について(調査検討のプライオリティについて、モニタリング調査計画について) ・現地視察に参加できなかった委員への猪名川の現状に関する説明について	-	-	-	-
H16	第3回 (H16.10.19)	・猪名川の河川環境に関する目標について ・治水防災に関する工事の実施について	-	-	-	-
	第4回 (H17.3.22)	・構造検討部会の設置について ・土砂動態検討会の開催報告	-	-	-	-
H17	第5回 (H17.9.7)	・第1回構造検討部会での審議について ・淀川水系流域委員会の報告(ダムの検討結果)について ・第2回構造検討部会での審議について ・今後のスケジュールについて ・河道掘削による河川環境への影響検討について ・試験施工について ・総合土砂管理委員会の設立について	第1回 (H17.5.26)	・構造検討部会の位置づけについて(報告) ・構造検討部会での検討項目について(報告) ・銀橋開削に伴う河床掘削の河川環境へ与える影響について(審議) ・検討会実施フローとスケジュール(案)について(審議) ・本年度実施工事に係る環境調査について(審議)	-	-
	第6回 (H17.12.14)	・自然再生事業試験施工について ・河川環境の現況把握に関する資料整理(中間とりまとめ) ・本年度実施事業に係る環境調査について ・猪名川外来種生育状況調査について	第2回 (H17.8.10)	・第1回構造部会での意見・課題整理について ・今後の検討スケジュールについて ・河道掘削の考え方について ・河道掘削による河川環境への影響について ●河川環境の現況把握について ●河道掘削による環境への影響について ●今後の調査、検討の進め方について	-	-
	第7回 (H18.3.29)	・環境目標設定について ・自然再生事業試験施工について ・土砂動態の検討状況について ・平成17年度工事実施箇所環境調査結果について ・善法寺地区におけるチガヤ移植の実施について ・出水後環境調査結果について	第3回 (H17.12.3)	・自然再生事業試験施工について	-	-
H18	第8回 (H18.12.17)	・河原再生試験施工について ・土砂動態の検討状況について ・平成18年度実施工事環境調査結果について ・善法寺地区におけるチガヤの移植試験について ・横断構造物の影響調査について	第4回 (H18.12.5)	・河原再生試験施工について ・土砂動態検討の状況報告	-	-
	第9回 (H19.3.8)	・自然再生試験施工モニタリング計画について ・猪名川の河川環境の現況について(報告) ・チガヤ移植試験結果について(報告)	-	-	-	-
H19	第10回 (H19.9.12)	・平成19年度委員会の検討方針および概要とスケジュールについて ・今年度の調査について(報告)	-	-	-	-
	第11回 (H20.2.26)	・環境目標の検討について【審議】 ・H19年度試験施工モニタリングについて【報告】 ・伐木計画について【報告】	-	-	-	-
	第12回 (H20.3.28)	・各種モニタリング調査等について	-	-	-	-

H15、H21、H22:
外来種対策(アレチウリ)

H16、H18、H19:
猪名川の河川環境
に関する目標

H17:構造検討部会の設置、
総合土砂管理委員会の設置

H17~H24:
自然再生試験施工
の検討(河原環境再生)

H17、H18、H20、H23:
総合土砂管理委員会の報告

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(2/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H20	第13回 (H20.10.16)	・自然再生計画について ・工事施工箇所の環境調査について ・各種調査の中間報告	—	—	—	—
	第14回 (H21.3.22)	・前回委員会の議事概要と今後の対応について ・部会等報告 ①構造部会の報告(平成21年度工事予定箇所の環境調査について、河原再生試験施工について) ②土砂委員会の報告(平成21年度モニタリングについて)	第5回 (H21.3.12)	・猪名川のモニタリングについて(自然再生事業を例として) ・平成21年度工事(予定)に関する環境調査について ・試験施工モニタリングに関わる環境調査について ・大井井堰(藻川)魚道設置状況について	—	—
H21	第15回 (H21.12.11)	・平成21年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・河川縦断方向の連続性回復計画について ・外来種対策について ・河原再生試験施工モニタリング調査(中間報告)	第6回 (H21.12.4)	・平成21年度工事予定箇所の環境への影響について(現時点での追加工事) ・平成21年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・河川縦断方向の連続性回復計画について	H21年度(1) (H22.1.26)	【川西・池田地区築堤・護岸他整備工事のうち、旧池田井堰工事(魚道の設置)】
	—	—	—	—	H21年度(2) (H22.2.8)	【北伊丹レキ河原再生工事】
	第16回 (H22.3.18)	・前回委員会議事概要について ・構造部会の報告 ①平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ②猪名川魚がのぼりやすい川づくりマスタープラン(簡易魚道の検討) ・外来種対策について	第7回 (H22.3.11)	・平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・大井井堰簡易魚道のモニタリングについて ・猪名川魚がのぼりやすい川づくりマスタープラン(簡易魚道の検討) ・平成21年度工事箇所の現地視察報告(報告)	H21年度(3) (H22.3.4)	【川西・池田地区築堤・護岸他整備工事のうち、旧池田井堰工事(魚道の設置)】
H22	第17回 (H22.12.8)	・外来植物対策マニュアル案について ・構造部会の報告 ①平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ②三ヶ井井堰簡易魚道の検討について ・モニタリング調査について(中間報告)	第8回 (H22.10.22)	・三ヶ井井堰簡易魚道の検討 ・平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ①第7回構造検討部会での指摘事項について ②新規報告工事 ・大井井堰簡易魚道のモニタリング結果(中間報告) (報告)平成21年度工事箇所の現地視察報告	—	—
	第18回 (H23.3.11)	・工事箇所モニタリング調査について ・河原再生試験施工地モニタリング調査について ・平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・外来植物対策マニュアル案について	第9回 (H23.2.25)	・平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・工事箇所モニタリング調査について	—	—
H23	第19回 (H23.10.21)	・構造検討部会の報告 ①平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ②簡易魚道について ・河原再生試験施工地モニタリング調査について ・北伊丹レキ河原再生工事モニタリング調査について ・椎堂河道掘削工事調査結果について ・魚道の遡上について	第10回 (H23.8.11)	・平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・簡易魚道の検討について	—	—
	第20回 (H24.2.23)	・平成24年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・平成24年度工事箇所モニタリング調査計画について ・平成23年度工事前調査結果報告について ・平成22年度工事後調査結果報告について ・第10回猪名川総合土砂管理委員会報告	第11回 (H24.2.2)	・平成24年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・平成24年度工事箇所モニタリング調査計画について 平成22年度工事後調査結果報告について	—	—

H21~H23:
工事予定箇所の環境への
配慮(現地確認等を実施)

H21、H22、H23、H26~:
簡易魚道に関する検討・調査

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(3/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H24	—	—	第12回 (H24.8.14)	・平成24年度工事予定箇所への影響と対策について ・平成24年度自然再生箇所等のモニタリング調査計画について	H24年度(1) (H24.8.14)	【第12回構造検討部会 現地視察】 ・戸ノ川橋(猪名川左岸0.8k付近)(戸ノ内地区河道浚渫工事) ・利倉橋(猪名川右岸2.8k付近)(利倉地区他河道掘削工事) ・猪名川・藻川分派点(藻川分派地区河道掘削工事・伐木(藻川3.8k~4.5k)) ・最明寺川合流点高水敷(猪名川右岸9.6k付近) (猪名川大橋地区礫河原再生工事・久代北台井堰簡易魚道設置工事) ・猪名川左岸10.4k付近堤防天端(池田床固簡易魚道設置工事)
	第21回 (H24.10.31)	・平成24年度工事予定箇所への影響と対策について ・平成24年度自然再生箇所等のモニタリング調査について	第13回 (H25.1.31)	・河原再生試験施工に関するとりまとめ ・平成25年度工事予定箇所への影響と対策	—	—
	第22回 (H25.3.26)	・第21回自然環境委員会・第11回総合土砂管理委員会での指摘とその対応 ・北河原地区河原再生試験施工に関するとりまとめ ・平成25年度工事予定箇所への影響と対策	第14回 (H25.3.9)	・平成25年度工事予定箇所の現地指導とりまとめ ・北河原地区河原再生試験施工に関するとりまとめ	H24年度(2) (H25.3.9)	【第14回構造検討部会 現地指導】 ・高木井堰周辺(東久代地区河道掘削他工事(低水路掘削部分)) ・箕面川合流点付近(北伊丹地区他河道掘削他工事) ・右岸6.6k付近堤防天端(北河原地区河道掘削工事) ・呉服橋周辺(川西・池田地区河道掘削工事(下流部)) ・加茂井堰周辺(川西・池田地区河道掘削工事(上流部))
H25	—	—	第15回 (H25.8.13)	・平成25年度工事予定箇所の自然環境への配慮事項	—	—
	第23回 (H25.10.9)	・第22回自然環境委員会および第15回構造検討部会の議事概要の確認 ・事業実施にあたっての自然環境への配慮事項 ・台風18号出水について	—	—	H25年度(1) (H25.10.8)	【ヒメボタル調査に関する現地指導】 ・ヒメボタル幼虫調査の調査計画 ・チガヤ群落の調査内容 ・(場所)北伊丹地区河道掘削他工事現地(左岸7.3k 付近)
	—	—	—	—	H25年度(2) (H25.12.18)	【簡易魚道等の構造・調査に関する現地指導】 ・池田床固の修復旧および魚道計画 ・簡易魚道モニタリング調査結果 ・ヒメボタル調査結果(中間報告) ・(場所)池田床固、高木井堰、三ヶ井堰、北伊丹地区河道掘削他工事現地
H26	第24回 (H26.11.6)	・平成24・25年度の工事実施状況および環境調査結果について ・魚道およびヒメボタルのモニタリング調査について ・水質の現況と改善の取り組みについて	第16回 (H27.3.11)	・河川整備計画の進捗状況について ・ヒメボタル幼虫等の調査結果について ・河道掘削モニタリング計画(案)について ・河道内樹木の伐採について	—	—
H27	第25回 (H28.2.8)	・河道掘削モニタリング計画(案) ・簡易魚道モニタリング計画(案) ・平成27年度工事箇所の環境面からの評価 ・平成28年度の工事予定	第17回 (H27.10.5)	・河道掘削工事に関する自然環境委員会の指摘と対応 ・河道掘削モニタリング計画(案) ・簡易魚道・ヒメボタル保全地のモニタリング調査 ・平成27年度工事予定箇所の環境配慮	H27年度 (H27.10.21)	【平成27年度工事予定箇所に関する現地確認】 ・猪名川右岸6.2k付近(藤ノ木地区低水護岸他補修工事) ・猪名川右岸7.4~7.8k付近(下河原地区他河道掘削他工事(猪名川7.4k付近)、下河原地区他河道掘削他工事(猪名川左岸7.6k付近)、池田地区河道掘削他工事(猪名川7.8k付近)) ・猪名川右岸8.2~8.4k付近(下河原地区他河道掘削他工事(猪名川8.2~8.3k付近)、池田地区河道掘削他工事(猪名川右岸8.4k付近)) ・猪名川右岸10.4~11.0k付近(池田地区河道掘削他工事)
H28	第26回 (H29.2.10)	・規約について ・猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 ・河道掘削モニタリング調査結果 ・簡易魚道モニタリング調査結果 ・平成28年度工事箇所の環境面からの評価 ・平成29年度の工事予定	第18回 (H28.10.26)	・猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理(構造検討部会に係る事項) ・平成28年度の工事予定箇所の工事概要 ・平成28年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) ・平成28年度簡易魚道モニタリング調査結果(中間報告)	H28年度 (H28.9.30)	【平成28年度工事予定箇所に関する現地確認】 ・猪名川右岸0.8k~1.1k付近(戸ノ内地区掘削工事) ・藻川左岸3.2k~3.4k付近(田能地区災害復旧工事) ・猪名川左岸7.2k付近(中村地区堤防拡幅工事) ・猪名川右岸0.8k~1.2k付近(東園田地区堤防強化工事) ・猪名川左岸3.4k~3.6k付近(危機管理型ハード対策(堤防防尻補強)) ・猪名川右岸8.2k~8.4k付近(河道内樹木伐採) ・猪名川左岸8.4k~8.8k付近(河道内樹木伐採)

H24~:
工事予定箇所の現地確認・環境面からの評価・対応を継続的に実施

H27: 河道掘削モニタリング計画、簡易魚道モニタリング計画を作成し、計画に基づき評価を実施

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(4/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H29	—	—	第19回 (H29.9.18)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 平成29年度の工事予定箇所的環境面からの評価(案) 猪名川・藻川の河道及び河川環境の特性 平成29年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) 平成29年度簡易魚道モニタリング調査結果(中間報告) 	H29年度 (H29.7.3)	<ul style="list-style-type: none"> 【平成29年度工事予定箇所の工事概要及び環境調査結果】 小中島地区護岸補修工事 小中島地区護岸補修(その2)工事 (仮)東園田地区遮水矢板工事 (仮)今在家地区遮水矢板工事 (仮)利倉地区河道掘削工事・(仮)岩屋地区河道掘削工事 北伊丹地区礫河原再生工事 戸ノ内地区他堤防強化他工事 【平成30年度工事予定箇所の工事概要及び環境調査結果】 桑津橋地区礫河原再生工事 (仮)木部地区河道掘削工事・(仮)小戸地区河道掘削工事 (仮)利倉地区遮水矢板工事 (仮)額田地区法尻補強工事 (仮)東園田防災拠点整備工事 (仮)東園田橋梁取付工事 (仮)原田西地区カメラ設置工事・(仮)天津東ノロ地区カメラ設置工事 (仮)桑津地区カメラ設置工事
	第27回 (H30.2.9)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度 猪名川自然環境委員会構造検討部会の報告 平成29年度工事箇所の環境面からの配慮 河道掘削モニタリングのとりまとめと今後の方向性 簡易魚道モニタリングのとりまとめと今後の方向性 その他 	第20回 (H30.1.18)	<ul style="list-style-type: none"> 第19回 猪名川自然環境委員会構造検討部会の指摘と対応 河道掘削モニタリングのとりまとめと今後の方向性 簡易魚道モニタリングのとりまとめと今後の方向性 平成29年度工事箇所の環境面からの評価 	—	—
H30	第28回 (H31.2.13)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 猪名川自然環境委員会 構想検討部会で得られた結果と課題 平成30年度工事箇所の環境面からの配慮 河川水辺の国勢調査の活用による環境影響モニタリング調査マニュアル(仮称)(案) 平成30年度河道掘削モニタリング調査結果 平成30年度簡易魚道モニタリング調査結果 	第21回 (H30.10.17)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 平成30年度工事予定箇所の環境面からの評価(案) 河川水辺の国勢調査の活用による環境影響モニタリング調査マニュアル(仮称)(案) 平成30年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) 平成30年度簡易魚道モニタリング調査結果(中間報告) 	H30年度 (H30.8.27)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川左岸2.8k付近利倉橋下部工事 猪名川3.6k~4.2k付近、左岸6.0k~6.2k付近原田西地区他掘削他工事 猪名川右岸6.4k~6.6k付近北河原地区災害復旧工事 猪名川右岸2.8k付近(仮)利倉橋下部工事 猪名川左岸6.0k~6.4k付近(仮)桑津橋地区礫河原再生工事
	R1 (R2.2.6)	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度工事箇所の環境面からの評価 河原環境の再生の評価 河川縦断方向の連続性回復に関する取り組みの結果 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	第22回 (R1.10.9)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 令和元年度工事予定箇所の環境面からの評価(案) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 令和元年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) 河川縦断連続性回復に関する総括と今後の方策(案) 	R1年度 (R1.7.10)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川左岸2.6k~12.6k猪名川管内樹木伐採工事 猪名川左岸2.8k~3.2k付近利倉地区河道掘削工事 猪名川左岸5.4k~6.0k付近、藻川4.2k~森本地区他河道掘削他工事 猪名川右岸9.2k~9.4k付近(仮)猪名川大橋地区河原環境再生工事
					R1年度 (R1.9.20)	<ul style="list-style-type: none"> 【ヒメボタルへ配慮した樹木伐採についての有識者・NPOとの現地確認】 3.4k右岸(猪名川公園前) 6.8k~7.3k左岸(中村・下河原)

H29:
河川水辺の国勢調査を活用したモニタリングを進めていくことを報告

H29:
猪名川・藻川の河道及び環境特性を整理

H30~:
河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)の作成に着手

R1:
河川縦断方向の連続性回復に関する総括と今後の方策(案)を報告

R1:
ヒメボタル幼虫の生息に配慮した樹木伐採方法を検討

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(5/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

R2:
猪名川自然再生事業 河原環境の再生事業の完了に伴う総括(案)を報告

R3:
インパクト-レスポンスの観点から工事後等の河道の状態把握の手法を提案

R6:
猪名川自然再生事業報告書(案)の作成に着手

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
R2	第30回 (R3.1.25)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2度工事予定箇所環境面からの評価 猪名川自然再生事業 河原環境の再生の評価 「令和3年度両生類・爬虫類・哺乳類調査」における河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	第23回 (R2.12.9)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2度工事予定箇所環境面からの評価(案) 河原環境の再生の評価(暫定) 「令和3年度両生類・爬虫類・哺乳類調査」における河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	R2年度 (R2.12.9)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川2.2k~10.2k付近、猪名川樹木伐採工事(猪名川森本地区他河道他掘削他工事の中で実施) 猪名川右岸9.2k~9.4k付近、猪名川大橋地区河原環境再生工事(猪名川森本地区他河道他掘削他工事の中で実施)
R3	第31回 (R4.1.27)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価 過去の委員会指摘事項のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	第24回 (R3.12.9)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価(案) 過去の委員会指摘事項のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	R3年度 (R3.12.9)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川5.2k~6.0k+100m、河道掘削工事 猪名川左岸7.2k~7.4k、樹木伐採工事(猪名川森本地区他河道掘削他工事の中で実施) 猪名川5.6k~6.0k付近、河道掘削工事(猪名川河道掘削事業)※次期整備計画対応
R4	第32回 (R5.1.27)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価 猪名川自然再生事業等のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	第25回 (R4.10.28)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価(案) 猪名川自然再生事業等のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	R4年度 (R4.10.24)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川0.6k付近~0.8k付近(猪名川河道掘削事業) 猪名川2.2k+150m~2.6k+50m、3.2k+150m~3.8k+50m(猪名川東園田地区他河道掘削他工事(河道掘削)) 藻川1.0k~4.4k(猪名川東園田地区他河道掘削他工事(樹木伐採))
					(R4.11.17、R4.11.30) ※現地指導	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川2.2k+150m~2.6k+50m(猪名川東園田地区他河道掘削他工事(河道掘削))
R5	第33回 (R6.1.18)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価 猪名川自然再生事業等のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	第26回 (R5.10.23)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価(案) 猪名川自然再生事業等のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	R5年度 (R5.10.23)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川0.6k付近~1.2k付近(猪名川戸ノ内地区河道掘削他工事) 猪名川2.2k+150m~2.6k+50m、3.4k付近(淀川水系河川整備計画(変更)に基づく河道掘削)
R6	第34回 (R7.1.22)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価 猪名川自然再生事業のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 猪名川自然再生事業報告書(案) 	第27回 (R6.11.5)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価(案) 猪名川自然再生事業のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 猪名川自然再生事業報告書(案) 	R6年度 (R6.11.5)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川1.2k付近・2.2k付近(猪名川東園田地区河道掘削他工事)

第33回 猪名川自然環境委員会 議事要旨

1. 日時 令和6年1月18日(木) 15:00~17:00
2. 場所 国土交通省 近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1階共用会議室1-3
3. 出席者 委員：竹門委員、田中委員、松井委員、村上委員、森下委員(委員長)
猪名川河川事務所：菊田事務所長、星原副所長
唐松総括保全対策官、松本建設専門官、中山保全対策官
(工務課) 山崎工務課長、大西専門官
庶務：いであ株式会社 兵藤、高地、村山、小森、養田、畠
4. 議事 (1) 工事箇所の環境面からの評価
(2) 猪名川自然再生事業等のフォローアップ
(3) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)
(4) その他
5. 結果
(1) 工事箇所の環境面からの評価
(猪名川戸ノ内地区河道掘削工事)
・ A評価として検討を進めることとする。
(藻川橋堤防取付工事(仮称))
・ C評価として工事を行うこととする。
(淀川水系整備計画(変更)に基づく河道掘削)
・ A評価として検討を進めることとする。
・ 潮間帯の生物は、生活史の中で浮遊生活期があるため、新たな潮間帯が別の場所にできれば潮汐に応じて移動する能力がある。河川整備等により既存の干潟・浅場が消失しても、その場所での再生するのが無理であれば、新たな場所での対策を行うべきである。但し、新たな場所であっても、この場所がどのような底質でどのような環境になるのかが課題となる。
・ 現在、潮間帯を利用している生物は、プランクトン時代に定着したとしても、底質環境として餌があり、生活史が全うできる場所である必要がある。
・ 潮間帯となる場を創出することだけが重要なのではなく、必要な底質環境(砂など)が上流から供給されるかどうか重要である。もし底質があるのであれば、樹木の伐根等により、上流からターゲットとなる箇所へ輸送される細粒成分の土砂を生産する必要がある。
(樹木伐採等工事(追加))
・ 樹木伐採等工事については、ヒメボタルへの影響は少ないとあるが、餌の観点も含めて慎重に進めていただきたい。
・ 樹木伐採には、基本ルールが設定されていないので、その優先順位を設定する必要がある。また、維持伐採のローテーションによる伐採サイクルを検討する必要がある。
・ 自然環境を考える上では、河道内に樹木があると良い面と悪い面がある。河道掘削や樹木伐採に

よる環境へのインパクトは大きいので、境界条件を検討する必要がある。高木に対して河積を確保できないのであれば、伐採(除根)する必要がある、計画的に行う必要がある。

- ・ ハリエンジュとその他の樹種では伐採方法は異なるため、ハリエンジュは伐根すると再繁茂でより拡大するため注意が必要である。
- ・ 河道断面を確保するために、河道内樹木を残すことを全く考えないことが前提ないのか、河道内の動態をコントロールする上では、水制設置や蛇行と同じように、樹木群も起点となる。

(評価の考え方)

- ・ 「工事箇所の環境面からの評価」の考え方が古い。法律が、事業アセス法から計画アセス法に変更しているので、環境目標に対してどのように工夫するのかを考えて行う必要がある。その意味で豆島周辺の土砂投入による浅場・干潟の形成の工夫は良い考え方である。

(2) 猪名川自然再生事業等のフォローアップ

(河原・水陸移行帯の再生のフォローアップ)

- ・ 水域図・陸域図について、基準となる水位によって面積が変化するため、流量等の情報を合わせて整理する必要がある。
- ・ 水域図・陸域図と自然裸地・植物面積は重要な情報であり、自然裸地・植物面積も航空写真や衛星画像からとりまとめられるのではないか。
- ・ 資料の作り方が、事業アセスであり、計画アセスにシフトしていく必要がある。再生前後の土砂動態の変化を示した上で、自然再生事業の効果を見ていく方がよい。

(縦断連続性の回復(魚道)のフォローアップ)

- ・ ウキゴリとテナガエビが上流で確認されなくなっているのではないか。簡易魚道の機能だけの問題なのか、他の要因も考えられるため、判断することが難しい。
- ・ アユについては、洪水や人間環境が変化すれば、アユが生息・生育・繁殖できる場ができる可能性がある。

(3) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)

- ・ 陸上昆虫類等調査に関する補足事項(案)を説明し、了承が得られた。
- ・ 河川水辺の国勢調査の活用方法について、猪名川全体の環境の現状を評価し、その因果関係(自然環境と工事インパクトの関係)を分析する必要がある。

(4) その他

(規約改定案)

- ・ 大阪公立大学 平井規央教授について、猪名川自然環境委員会の委員に入っていただくことで了承を得た。

以上

第27回 猪名川自然環境委員会 構造検討部会 議事要旨

1. 日時 令和6年11月15日(火) 14:20~16:15
2. 場所 国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 2階会議室
3. 出席者 委員：田中委員、村上部会長(部会長)
猪名川河川事務所：菊田事務所長、星原副所長
松本建設専門官、浦西建設専門官、唐松総括保全対策官
(工務課) 福本工務課長、大西工務課専門官
庶務：いであ株式会社 兵藤、養田、村山、小森
4. 開会
5. 議事 (1) 工事箇所環境面からの評価(案)
(2) 猪名川自然再生事業のフォローアップ
(3) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)
(4) 猪名川自然再生事業報告書(案)
6. 結果
(1) 工事箇所環境面からの評価(案)
1) 猪名川戸ノ内地区河道掘削他工事
(評価結果)
 - A評価とする(令和4年度からの継続)。
 - 令和4年度に現地確認を行い、干潟・浅場を創出する概略図を提示しているが、工事の実施前に機会があれば、現地を確認させていただきたい。
 - 豆島及び猪名川・藻川の合流地点の間で干潟・浅場環境の創出を検討していただきたい。
2) 樹木伐採に関する方針
(樹木伐採の方針の分類)
 - 樹木伐採の方針はとりまとめの分類を再整理すること。具体例として、④ハリエンジュについては、②外来種として統合してとりまとめること。③土砂移動は一般的な内容であるため、順番を後ろに移すこと。ヒメボタル、ゴキツル、鳥類については重要な種類の生育・生息場所に対する環境配慮事項として整理する。
(優先順位の考え方)
 - 樹木伐採の優先順位の考え方として、評価区分(A、B、C、D)は堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領(R5.3)に基づき設定していることを説明した。猪名川自然環境委員会においてもその考え方や評価結果について提示すること。
(河川環境配慮)
 - 対象樹木の支障の把握において、河川環境に対する配慮事項が少ないのではないか。治水及び管

理上支障となる箇所の抽出後に、環境配慮を考えると対応できることが限定されるのではない。猪名川自然環境委員会においても議論することとする。

(ハリエンジュの対応)

- ハリエンジュの環状剥皮後のモニタリング結果について、円グラフではなく棒グラフで推移が分かるように整理していただきたい。
- 枯死した状態が維持されて効果が出ているが、存置すると洪水時の流木化・河積阻害の懸念もあるため早期に伐採していただきたい。

(ヒメボタルの環境配慮)

- 猪名川自然環境委員会の平井委員について、昆虫類の専門であり、構造検討部会にも部会の委員として参画していただきたい。

(2) 猪名川自然再生事業のフォローアップ

1) 河原・水陸移行帯の再生のフォローアップ

(基本情報の追加整理)

- 河原・水陸移行帯の再生の工事実施後からの経過年数の情報があると分かりやすい。

(河原生植物への対応)

- 植物の面積変化について、種の組成の情報と合わせて整理していただきたい。河原生植物との関係を示していく必要がある。もし、河原生植物が確認されないのであれば、移植も含めて考えていく必要がある。猪名川自然環境委員会の中で議論していく必要があるのではない。
- 河原生植物については、外来種の侵入の状況と合わせて考察する必要があるのではない。

2) 縦断連続性の回復(魚道)のフォローアップ

(簡易魚道の機能と河川縦断方向の連続性の評価)

- 底生動物の指標(テナガエビ、モクズガニ)については、河川水辺の国勢調査の調査地点における調査結果の情報が入っており、そのことが分かるようにしていただきたい。

(簡易魚道の修繕の効果)

- 簡易魚道の修繕について、少なくとも物理環境は修繕の前後で比較できるようにしていただきたい。

(簡易魚道の効果と今後の課題)

- 簡易魚道の設置により、これまで遡上できていなかった種が遡上できるようになっており、猪名川の縦断方向の連続性はある程度確保できたと考えられる。
- アユについては、簡易魚道を遡上した先の生息場が消失していると考えられる。その状況を改善する方法が河原・水陸移行帯の再生であり、瀬・淵と合わせて再生できることが重要である。アユの釣り人がいるような状況にできると良い。

(3) 「河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)

(河原固有の植物相)

- 河原生植物の植物相がどのような状況になっているのか確認する必要があるのではない。

(4) 猪名川自然再生事業報告書(案)

- 事業報告書（案）では、自然再生計画の方向性を含めて、平成16年度頃から時系列での情報や文脈が分かるように肉付けしていただきたい。
- 例えば簡易魚道であれば、簡易魚道の設置前の高低差の情報も整理していただきたい。

7. 閉会

- -

以上